

かぜに

カッコン湯入

第②類医薬品

顆粒

ピラドン

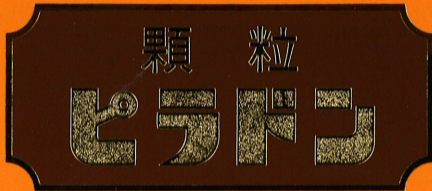
10

かぜに

漢方薬 主剤

第②類医薬品

カッコン湯乾燥エキス配合



発熱・鼻みず・せき・痛みに (非ピリン)



和田製薬株式会社

第②類医薬品

顆粒

ピラドン

10

かぜに

カッコン湯入



箱



外装フィルム

第②類医薬品

顆粒

ピラドン

発熱・鼻みず・せき・痛みに

10

副作用被害救済制度
電話 0120-149-931

第②類医薬品

顆粒 **ピラドン**

発熱・鼻みず・せき・痛みに

10

かぜに 漢方薬主剤

顆粒 **ピラドン**

第②類医薬品

効能又は効果

かぜの諸症状(鼻水、鼻づまり、くしゃみ、のどの痛み、せき、悪寒、発熱、頭痛、関節の痛み、筋肉の痛み)の緩和。

成分及び分量 1日量(3包)中 1包1,100mg

葛根湯乾燥エキス1500mg

カッコン……2.4g・マオウ……1.2g・タイソウ……1.2g
ケイヒ……0.9g・シャクヤク……0.9g・カンゾウ……0.6g
シヨウキョウ……0.3g 原生薬として7.5g

日局 エテンザミド……………500mg
日局 アセトアミノフェン……………300mg
日局 無水カフェイン……………100mg
日局 ノスカピン……………30mg
日局 クロルフェニラミンマレイン酸塩……………7mg
添加物としてトウモロコシデンプン、アラビアゴムを含有する。

用法及び用量

大人(15才以上)……………1回1包
11才以上15才未満……………1回 $\frac{2}{3}$ 包
7才以上11才未満……………1回 $\frac{1}{2}$ 包
3才以上7才未満……………1回 $\frac{1}{3}$ 包
1才以上3才未満……………1回 $\frac{1}{6}$ 包
1日3回食後なるべく30分以内に服用のこと。

配置期限

注意

1. 次の人は服用しないで下さい。
(1)本剤による過敏症状(発疹・発赤、かゆみ、浮腫等)を起こしたことがある人。
(2)本剤又は他のかぜ薬、解熱鎮痛薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。
2. 2才未満の乳幼児には、医師の診療を受けさせることを優先し、止むを得ない場合にのみ服用させて下さい。
3. 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないで下さい。
4. 服用に際しては、説明文書をよく読んで下さい。
5. 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管して下さい。
6. 小児の手の届かない所に保管して下さい。
7. 配置期限の切れた製品は服用しないで下さい。

5包入(1包1,100mg×5) ¥1,000(税別)

製造販売元 和田製薬株式会社

奈良県御所市池之内340

TEL 0745-62-5624

第②類医薬品

かぜに顆粒 **ピラドン** 漢方薬 (カッコン湯乾燥エキス) 配合

⚠ 使用上の注意

❌ してはいけないこと

この説明書は、服用前に必ずお読みください。
また必要なときに読めるように保存してください。

- 次の人は服用しないで下さい。
 - 本剤による過敏症状(発疹・発赤、かゆみ、浮腫等)を起こしたことがある人。
 - 本剤又は他のかぜ薬、解熱鎮痛薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。
- 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないで下さい。
他のかぜ薬、解熱鎮痛薬、鎮静薬、鎮咳去痰薬、抗ヒスタミン剤を含有する内服薬
(鼻炎用内服薬、乗物酔い薬、アレルギー用薬)。
- 服用後、眠気があらわれることがあるので乗物又は機械類の運転操作をしないで下さい。
- 服用時は飲酒しないで下さい。
- 長期連用しないで下さい。

👉 相談すること

- 次の人は服用前に医師または薬剤師に相談して下さい。
 - 医師又は歯科医師の治療を受けている人。
 - 妊婦又は妊娠していると思われる人。
 - 授乳中の人。(4)水痘(水ぼうそう)若しくはインフルエンザにかかっている
又はその疑いのある乳・幼・小児(15才未満) (5)高齢者。
 - 本人又は家族がアレルギー体質の人。
 - 薬によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
 - 高熱、排尿困難の症状のある人。
 - 次の診断を受けた人
甲状腺機能障害、糖尿病、心臓病、高血圧、肝臓病、腎臓病、胃・十二指腸潰瘍、緑内障

2. 次の場合は、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師又は薬剤師に相談して下さい。

(1) 服用後、次の症状があらわれた場合

関係部位	症 状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	悪心・嘔吐、食欲不振

関係部位	症 状
精神神経系	めまい
その他	排尿困難

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けて下さい。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐにじんましん、浮腫、胸苦しさ等とともに、顔色が青白くなり、手足が冷たくなり、冷や汗、息苦しさ等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 中毒性表皮壊死症	高熱を伴って、発疹・発赤、火傷様の水ぶくれ等の激しい症状が、全身の皮膚、口や目の粘膜にあらわれる。
肝機能障害	全身のだるさ、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)等があらわれる。
間質性肺炎	空せき(たんを伴わないせき)を伴い、息切れ、呼吸困難、発熱等があらわれる。 (これらの症状は、かぜの諸症状と区別が難しいこともあり、空せき、発熱等の症状が悪化した場合にも、服用を中止するとともに、医師の診療をうけること。)
ぜんそく	

(2) 5~6回服用しても症状がよくなる場合

3. 口のかわき症状があらわれることがあるので、このような症状の継続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、医師又は薬剤師に相談して下さい。

⚠ 用法・用量に関連する注意

- 定められた用法・用量を厳守して下さい。
- 2才未満の乳幼児には、医師の診療を受けさせることを優先し、止むを得ない場合にのみ服用させること。

⚠ 保管及び取扱い上の注意

- 直射日光をさけ、湿気の少ない涼しい所に保管して下さい。
- 小児の手のとどかない所に保管して下さい。
- 誤用をさけ、品質を保持するため、他の容器に入れかえないで下さい。
- 小児に服用させる場合には保護者の指導監督のもとに服用させること。
- 配置期限の切れたものは使用しないで下さい。